

令和3年度 東京データプラットフォーム ケーススタディ事業

Project 03 民間データを基軸にした 「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開

実施概要

プロジェクト実施者

パシフィックコンサルタンツ株式会社（プロジェクト代表者）

ソフトバンク株式会社

株式会社日建設計総合研究所

Project 03 民間データを基軸にした「駅利用圏ポテンシャルマップ」の展開 プロジェクトの目的と実施内容

【目的】

- ✓ 年齢別の人の動きに関するデータを中心に分析し、都市サービスの利便性向上等に向けて、住民・来街者の駅利用圏の実態を可視化
- ✓ 都民の住居選定や企業の広告戦略、行政サービス向上等の活用を目指す

カテゴリ

民間データ
活用

実施エリア

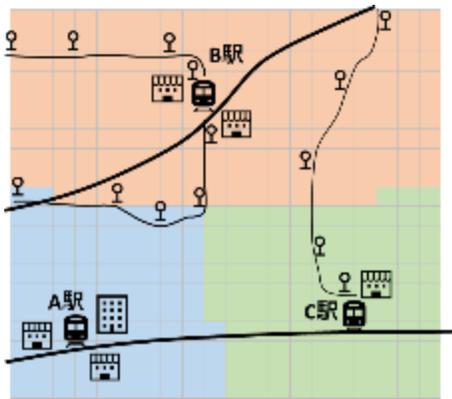
- 駅利用圏ポテンシャルマップ：都内全域（島しょ部・山地部を除く）
- 詳細分析：銀座・築地・人形町エリア、三鷹・調布・世田谷エリア

プロジェクト実施者

パシフィックコンサルタンツ(株) (プロジェクト代表者)、ソフトバンク(株)、(株)日建設計総合研究所

これまで

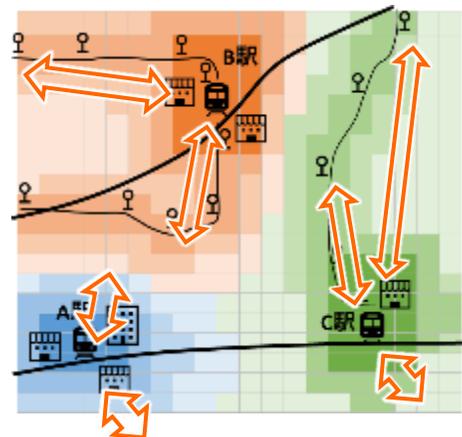
駅からの距離等による駅利用圏域
(従来の考え方)



実態が不明なことからビジネスチャンスを失うことも

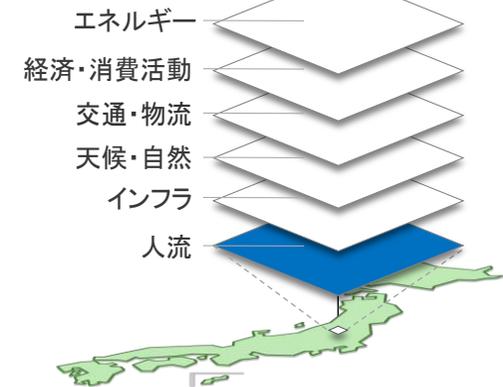
本プロジェクト

人流に基づく実態に即した駅利用圏域



地域のポテンシャル評価が可能となり様々なビジネスに貢献

多様なデータとの重ね合わせ



効果検証結果

成果

関係事業者

- ヒアリングは**12社へ実施**し、**9社が有用**と回答



鉄道事業

リアルな駅の利用圏域や利用者が分かる為、**新駅や施設の設置検討**に役立つ



不動産事業

各駅で施設の利用者数に差がある為、**利用者層等の分析の材料**になりうる



行政

都市機能誘導施設の配置の分析やバスのルート検討等、**まちづくり**に非常に有用



流通事業者

出店場所の検討や、チラシの配布エリアの検討等**プロモーション**で利用できそう



スタートアップ

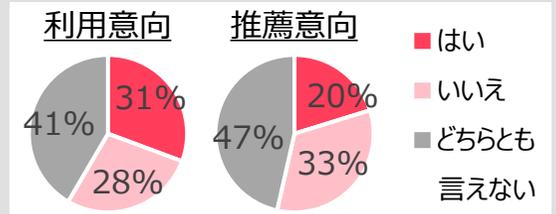
出店候補地の比較や、**売上予測による機会損失防止**に有用

その他関係事業者

・**マイクロモビリティのポート立地**
・**交通安全イベントの実施エリア**等の検討に役立つのではないか

利用者（都民）

- 今後の**利用意向は37%**、**周囲への推薦意向は44%**



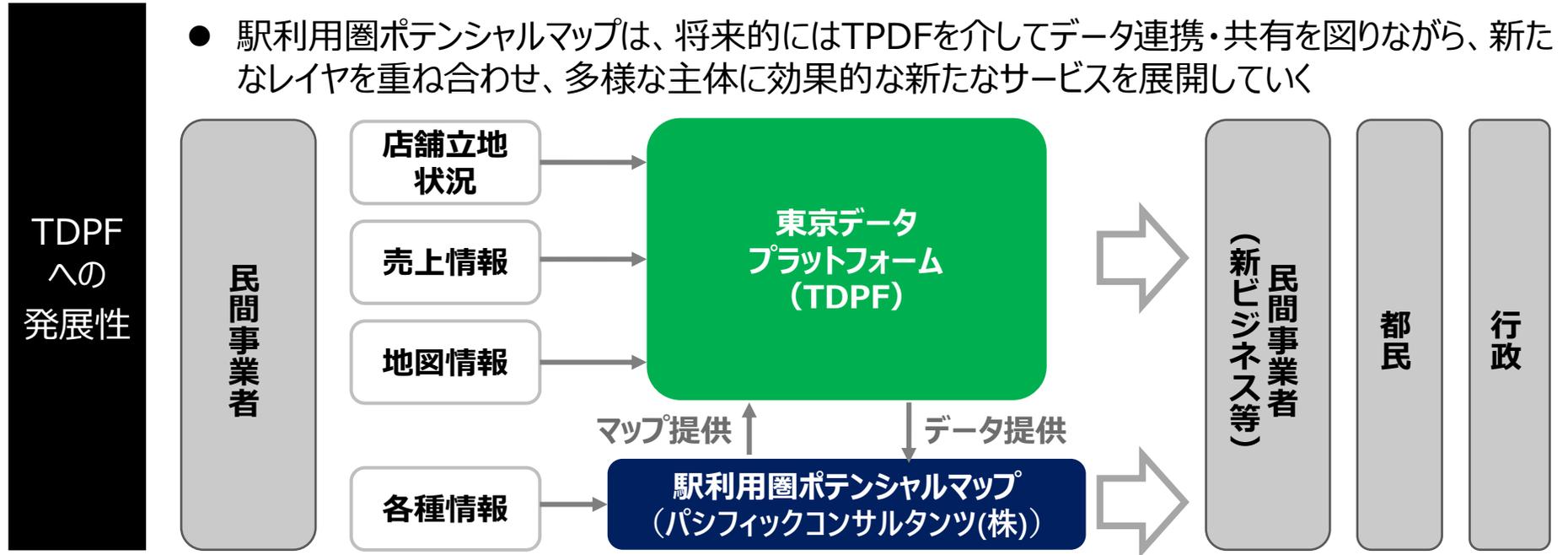
- 私的な利用としては、「**見て楽しむ**」や「**買い物等の外出先の検討**」が、業務利用としては、「**不動産購入・開発の検討**」や「**オフィスの立地検討**」が多かった

今後への期待

- 「年齢の細分化」、「駅利用者の実数」、「時間帯別の数値」等、**より詳細なデータの要望**もあった
- **データのダウンロードやAPI連携**等で、自社データと組み合わせたいという声もあった
- 病院や商業施設等、**駅以外の施設の希望**もあった

- **活用方法のアドバイス**がほしいという声もあった
- 買物、病院、公共施設の情報等、**データの追加の要望**もあった

TDPFへの発展性と今後に向けたポイント



<取組に対する評価>

- 今回の取組の要諦は、“**人流 + α (分野) データで作成したベースマップ提供へのチャレンジ**”。地図上に人流データを基にした駅利用圏域を提示したことに加え、施設や防災データを重畳した取組に対し、**想定利用者から一定の評価**を受領。一方で、重畳データの拡充や、年齢の細分化といった人流データの詳細活用に対する要望が確認された
- 今後は、必要とされる拡充データや機能を明確にすべく、鉄道事業者や通信事業者等、**業種単位でのユースケース詳細化、機能のカスタマイズ**を行うことで更なる発展が見込める